

パワーポール 鯉のぼり用ポール

569712-08

8 m

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます
お使いになる前にこの取扱説明書を最後までお読み下さい。
お読みになったあとは必ず保存して下さい。

ご注意

- 日本国内の環境を考慮して設計された製品であり、海外での使用厳禁！
- 設置場所は地面に限ります。場所を決めるとき、必ず頭上の電線にご注意下さい。アルミ合金製ですから感電します。

組立及び降納時の注意

- ポールを組立及び解体を行う時、特に電線に注意し、組立時はもちろん、傾斜した時にも電線に触れない所に立てて下さい。
- やむを得ず電線のそばに立てる時は事前に電力会社に連絡して下さい。
- ポールを組立及び降納は必ず大人3人以上で行って下さい。
- 雨天時、強風時にはポールを組立及び降納を行わないで下さい。

使用上の注意

- 雨天時や強風時（風力4以上）にはポールが変形したりする事がありますので鯉や吹き流しは降ろして下さい。（下図風力の目安）
- ポールに取付ける鯉は化粧系とし、鯉や吹き流しは4点以下として下さい。また、その長さは最長のものでポール本体の全長の1/2以下にして下さい。
- 矢車等はポール本体に適したものを選んで下さい。
- 大帆・鯉織の掲揚シーズン終了時には、ポール・回転球等も降納して下さい。なお、ポールを降納するおり、ポールを倒す方向に脚立等を置き障害の有無を確認の上、ゆるやかに倒して下さい。

降納の注意

- 使用後の解体は組立方の逆に行ってください。（組上がり完成状態では、ポールをパイル（杭）から引き抜かないで下さい）
- 解体時ポール本体をはずし、収納前には必ず乾いた布等でポール本体をよく拭き、チリや砂等がすき間に入り込まないようにご注意ください。
- 雨天時や強風時には降納を行わないで下さい。
- 必ず大人3人以上で行って下さい。

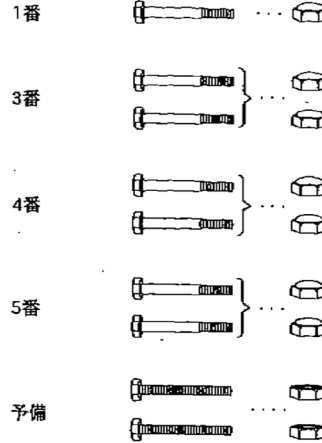
保管上の注意

- 使用後は汚れを落とし乾いた布でよく拭き、湿気のある場所や潮風の当たる場所、化学肥料の保管している場所は避けて下さい。なお、パイル（杭）はビニール等で保護して下さい。
- 使用・保管状態により、パイル（杭）・ポール等腐食する場合があります。翌年、ポールを掲揚する場合パイル（杭）の腐食状態を確認して下さい。（鉄製の為、腐食が進行している場合があります、そのまま使用すると危険です）

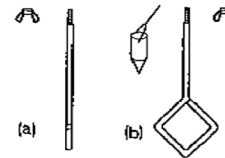
部品の名称

ボルト・特殊ナット

- ⚠️ 頭にフタのついた特殊ナットは手で2~3回締めると回転しなくなります。さらに添え付けのスパナで1~2回締めて下さい。締めすぎると袋ナットの袋部分が壊れ、ケガをする恐れがあります。



垂直器

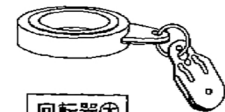


ステパイプ用キャップ

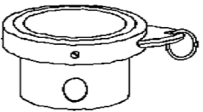


ステパイプ

回転器⑨滑車付

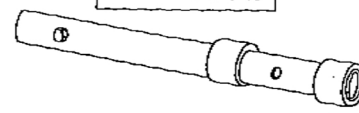


回転器⑩

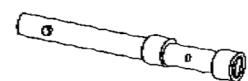


同封のボルトは準備作業の⑥の段階で使用します

アジャスター（大）ボルト付



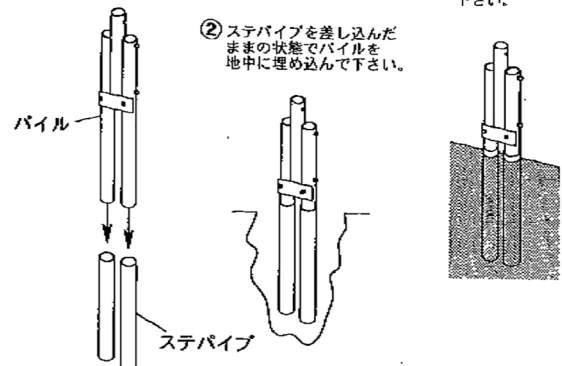
アジャスター（小）ボルト付



ステパイプの取り付け方

準備作業の進め方をよくお読みの上ケガをしないよう十分注意をして作業して下さい。

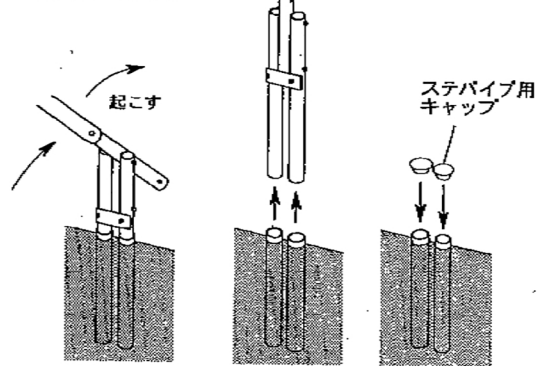
- ① あらかじめ組み立ててあるパイルをステパイプに差し込んで下さい。
- ② ステパイプを差し込んだままの状態でもパイルを地中に埋め込んで下さい。
- ③ ステパイプの先端が地面より少し出る位まで埋め込んで下さい。



警告

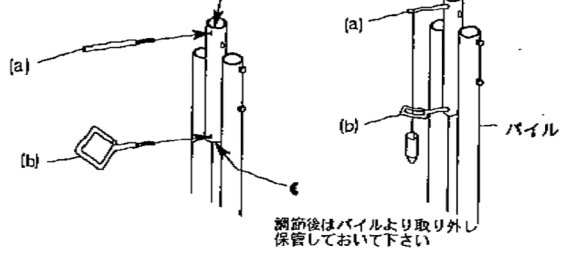
ポールの上げ、降ろしの際パイルが抜ける場合がありますのでパイルを押し込んで下さい。手、指等はさんでケガをしないよう十分注意して下さい。

ご使用後はパイルを抜き取りキャップをかぶせて平地としてご使用下さい。



垂直器の取り付け方

- ① 器具⑨、⑩をパイルに緩ねて取り付けます。⑩の切り込み部を必ず上にしてください。
- ② ②にひもを引っかけて、⑩の中につり下げます。⑩の中心にひもが位置するようにパイルの角度を調節して下さい。



調節後はパイルより取り外し保管しておいて下さい